

各事業で使用する単価

共通

## 長尺L型側溝(L=2.0m)設置工 歩掛表

(10m当り)

名 称 ・ 規 格 など	数 量	単 位	備 考
土木一般世話役	0.30	人	
特殊作業員	0.10	人	
普通作業員	0.60	人	
バックホウ運転 クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (クレーン機能付2.9t吊) 排出ガス対策型(第1次基準値)	1.20	h	
基礎碎石費 RC-40	36	%	労務費、機械運転経費
諸雑費 コンクリートカッタ、敷モルタル、損失分等	20	%	労務費、機械運転経費

## 仮設材の損料率

種類	径	設置期間	損料率	単位	備考
高密度ポリエチレン管	$\phi \leq 600\text{mm}$	1年以上	100	%	
		1年未満	50	%	
	$\phi > 600\text{mm}$	1年以上	100	%	
		1年未満	50	%	
ヒューム管	$\phi \leq 600\text{mm}$	1年以上	100	%	
		1年未満	50	%	
	$\phi > 600\text{mm}$	1年以上	100	%	
		1年未満	50	%	

道路

## トンネル工割増労務賃金

### 【労務賃金の設定】

坑内1方当り（8時間労働）割増労働賃金算定例表を次に示す

割増労働賃金算定表

		昼間単価①	夜間単価②
基準額		P（8時間当り）	P（8時間当り）
割増	深夜労働	0	$P\alpha/8 * 25/100 * 4 = 0.125P\alpha$
合計		P（8時間当り）	$P + 0.125P\alpha$
$\text{①と②の平均} = P + 0.063P\alpha$ 単価 = $P * (1 + 0.063\alpha) \dots\dots$ 掘削関係など			

### 労務単価

（単位：円／人）

項目 名称	構成比 $\alpha$ (%)	基本賃金 P (円)	昼間単価と 夜間単価の平均 $P \times (1 + 0.063\alpha)$
特殊作業員	82.0%	19,300	20,290
普通作業員	88.0%	16,500	17,410
トンネル特殊工	96.8%	34,100	36,170
トンネル世話役	94.9%	34,600	36,660
トンネル作業員	94.4%	24,100	25,530
電 工	73.6%	19,200	20,090
溶 接 工	83.0%	23,500	24,720
機 械 工	83.0%	23,500	24,720
運転手（特殊）	82.8%	21,800	22,930
設備機械工	72.7%	22,100	23,110

砂防

## 簡易動的コーン貫入試験（10m当り） 歩掛表

（傾斜勾配30° 超えて50° 以下）

種 別	細 別	単 位	数 量		摘 要
			粘性土	礫混じり土	
人件費	地質調査技師	人	0.2	0.4	
	主任地質調査員	〃	0.6	1.2	
	地質調査員	〃	1.2	2.4	
材料費	コーン	個	0.1	0.2	
	ロッド	本	0.2	0.4	
	雑 品	式	1.0	1.0	上記材料費の5%
機械等損料	試験器	日	0.6	1.2	基礎価格×0.5122%



港湾

## 船員単価

職 種	単 価	備 考	職 種	単 価	備 考
船団長 基本単価	28,300		潜水世話役 基本単価	38,200	
" (回航用) 2交替制	39,850	就業11h	潜水土 基本単価	38,200	
高級船員 基本単価	28,300				
" (回航用) 2交替制	39,850	就業11h			
普通船員 基本単価	21,200				
" (回航用) 2交替制	29,930	就業11h			